

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月13日

【四半期会計期間】 第136期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社豊田自動織機

【英訳名】 TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 大西 朗

【本店の所在の場所】 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)22-2511

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 河井 康 司

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内2丁目4番1号
丸の内ビルディング29階
株式会社豊田自動織機 東京支社

【電話番号】 東京(03)5293-2500

【事務連絡者氏名】 支社長 石川 俊彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第135期 第3四半期 連結累計期間	第136期 第3四半期 連結累計期間	第135期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(百万円)	1,140,576	1,480,672	1,615,244
経常利益	(百万円)	66,029	112,708	86,836
四半期(当期)純利益	(百万円)	40,601	76,450	53,119
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	123,413	426,162	349,283
純資産額	(百万円)	1,296,874	1,937,574	1,524,933
総資産額	(百万円)	2,777,220	3,999,832	3,243,779
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	130.27	244.18	170.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		243.96	170.35
自己資本比率	(%)	44.95	47.00	45.43

回次		第135期 第3四半期 連結会計期間	第136期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	53.02	105.06

- (注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。
2 第135期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業の内容に重要な変更はありません。
また、主要な関係会社の異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、事業等のリスクに重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を3,401億円(30%)上回る1兆4,806億円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期を269億円(52%)上回る780億円、経常利益は前年同期を467億円(71%)上回る1,127億円、四半期純利益は前年同期を358億円(88%)上回る764億円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車

自動車におきましては、売上高は前年同期を1,558億円(26%)上回る7,465億円となりました。営業利益は前年同期を93億円(55%)上回る261億円となりました。

このうち車両につきましては、ヴィッツは減少したものの、RAV4が増加し、売上高は前年同期を1,192億円(52%)上回る3,470億円となりました。

エンジンにつきましては、KD型ディーゼルエンジンは減少したものの、AR型ガソリンエンジンが増加したことにより、売上高は前年同期並みの1,547億円となりました。

カーエアコン用コンプレッサーにつきましては、国内・海外ともに増加した結果、売上高は前年同期を352億円(21%)上回る2,007億円となりました。

電子機器・鋳造品ほかにつきましては、電子機器は減少したものの、鋳造品が増加したことにより、売上高は前年同期を16億円(4%)上回る440億円となりました。

産業車両

産業車両におきましては、主力のフォークリフトトラックが国内・海外ともに増加したことに加え、2013年3月にカスケード株式会社を子会社化したことにより、売上高は前年同期を1,619億円(38%)上回る5,930億円となりました。営業利益は前年同期を129億円(45%)上回る415億円となりました。

物流

物流におきましては、物流受託事業および自動車関連部品の運送事業が増加し、売上高は前年同期を15億円(2%)上回る707億円となりました。営業利益は前年同期を1億円(2%)上回る34億円となりました。

繊維機械

繊維機械におきましては、紡機、織機が増加したことにより、売上高は前年同期を237億円(84%)上回る520億円となりました。営業利益は前年同期を41億円上回る41億円となりました。

その他

その他におきましては、子会社でありました株式会社ティーアイピーシーを2013年1月に解散したことにより、売上高は前年同期を30億円(14%)下回る181億円となりました。営業利益は前年同期を4億円(16%)上回る25億円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

総資産につきましては、主に投資有価証券の時価評価額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ7,561億円増加し、3兆9,998億円となりました。負債につきましては、主に繰延税金負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ3,434億円増加し、2兆622億円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,126億円増加し、1兆9,375億円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費は、337億円であります。

- (注) 1 売上高には、消費税等を含んでおりません。
2 セグメントの業績に記載の売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,100,000,000
計	1,100,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	325,840,640	325,840,640	東京、名古屋 各証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	325,840,640	325,840,640		

(注) 提出日現在の発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		325,840		80,462		101,766

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,681,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 312,924,400	3,129,244	
単元未満株式	普通株式 235,040		
発行済株式総数	325,840,640		
総株主の議決権		3,129,234	

(注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が74株含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社豊田自動織機	愛知県刈谷市豊田町 2丁目1番地	12,681,200		12,681,200	3.89
計		12,681,200		12,681,200	3.89

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株あります。
なお、当該株式数は「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の中に含まれております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

氏名	新役職名	旧役職名	異動年月日
佐々木 一衛	代表取締役 取締役副社長 (技術統轄、産業車両関連事業担当、TMHGプレジデント、トヨタL&Fカンパニープレジデント、技術統括部・研究開発センター担当)	代表取締役 取締役副社長 (技術統轄、TMHGプレジデント、トヨタL&Fカンパニープレジデント、技術統括部・研究開発センター担当)	平成26年1月1日
小川 隆希	取締役 (ICA室・トヨタL&Fカンパニー技術部担当、産車システム開発プロジェクト主管)	取締役 (トヨタL&Fカンパニー技術部担当、産車システム開発プロジェクト主管)	平成26年1月1日
大塚 幹	取締役 (エレクトロニクス事業部長、ECU開発推進プロジェクト担当、共和工場長、安城工場長)	取締役 (エレクトロニクス事業部長、ECU開発推進プロジェクト担当、共和工場長)	平成26年1月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)および第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	230,348	296,904
集配金業務用の現金及び預金	49,981	72,427
受取手形及び売掛金	215,799	220,705
リース投資資産	41,964	50,453
有価証券	33,047	30,528
商品及び製品	66,670	76,429
仕掛品	35,088	38,522
原材料及び貯蔵品	40,762	51,164
繰延税金資産	23,836	21,481
その他	46,222	59,434
貸倒引当金	3,204	3,750
流動資産合計	780,517	914,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	138,871	150,867
機械装置及び運搬具（純額）	218,214	256,881
工具、器具及び備品（純額）	30,500	33,669
土地	118,244	118,846
建設仮勘定	43,982	47,413
有形固定資産合計	549,814	607,677
無形固定資産		
のれん	122,003	100,835
その他	46,045	85,223
無形固定資産合計	168,049	186,059
投資その他の資産		
投資有価証券	1,598,437	2,117,859
繰延税金資産	12,304	10,622
リース投資資産	93,572	117,775
その他	41,231	45,849
貸倒引当金	148	314
投資その他の資産合計	1,745,398	2,291,793
固定資産合計	2,463,262	3,085,530
資産合計	3,243,779	3,999,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	180,146	172,706
短期借入金	183,920	168,110
コマーシャル・ペーパー	30,224	33,863
1年内償還予定の社債	4,499	29,715
リース債務	44,851	48,187
未払金	17,623	25,541
未払法人税等	15,958	17,587
繰延税金負債	2,923	3,243
役員賞与引当金	570	446
その他	178,378	207,443
流動負債合計	659,095	706,844
固定負債		
社債	213,584	214,324
長期借入金	236,318	325,035
リース債務	101,883	117,410
繰延税金負債	440,356	624,980
退職給付引当金	¹ 52,779	¹ 56,833
その他	14,829	16,828
固定負債合計	1,059,750	1,355,412
負債合計	1,718,846	2,062,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	105,898	105,615
利益剰余金	492,578	548,701
自己株式	48,405	44,332
株主資本合計	630,534	690,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	830,054	1,147,085
繰延ヘッジ損益	237	835
為替換算調整勘定	13,163	43,235
その他の包括利益累計額合計	842,980	1,189,485
新株予約権	1,478	508
少数株主持分	49,939	57,132
純資産合計	1,524,933	1,937,574
負債純資産合計	3,243,779	3,999,832

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,140,576	1,480,672
売上原価	950,736	1,219,194
売上総利益	189,840	261,477
販売費及び一般管理費	138,669	183,453
営業利益	51,170	78,024
営業外収益		
受取利息	6,572	8,050
受取配当金	21,044	38,554
その他	4,446	8,742
営業外収益合計	32,063	55,346
営業外費用		
支払利息	10,823	11,782
その他	6,381	8,880
営業外費用合計	17,204	20,663
経常利益	66,029	112,708
特別損失		
関係会社整理損	¹ 6,616	-
特別損失合計	6,616	-
税金等調整前四半期純利益	59,413	112,708
法人税、住民税及び事業税	15,442	30,533
法人税等調整額	3,729	4,962
法人税等合計	19,172	35,496
少数株主損益調整前四半期純利益	40,240	77,211
少数株主利益又は少数株主損失()	361	761
四半期純利益	40,601	76,450

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,240	77,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,893	317,301
繰延ヘッジ損益	408	597
為替換算調整勘定	9,584	31,660
持分法適用会社に対する持分相当額	104	585
その他の包括利益合計	83,172	348,950
四半期包括利益	123,413	426,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,451	422,955
少数株主に係る四半期包括利益	962	3,207

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 退職給付引当金に含まれる役員（執行役員を含む）の退任慰労引当金の額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
役員退任慰労引当金	1,953百万円	1,719百万円

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 関係会社整理損

子会社でありました株式会社ティーアイピーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失（4,516百万円）、設備撤去費用の見積額などであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	60,031百万円	74,062百万円
のれんの償却額	4,958百万円	6,945百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	7,792	25	平成24年3月31日	平成24年6月15日	利益剰余金
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	7,792	25	平成24年9月30日	平成24年11月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、15,584百万円の剰余金の配当を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月13日 定時株主総会	普通株式	9,366	30	平成25年3月31日	平成25年6月14日	利益剰余金
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	10,960	35	平成25年9月30日	平成25年11月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、20,326百万円の剰余金の配当を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	590,723	431,136	69,242	28,360	21,113	1,140,576		1,140,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,298	395	6,486	138	8,586	31,905	31,905	
計	607,021	431,532	75,729	28,499	29,700	1,172,482	31,905	1,140,576
セグメント利益	16,839	28,677	3,325	49	2,167	51,059	111	51,170

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
2 セグメント利益の調整額111百万円は、セグメント間取引消去であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：百万円)

	自動車	産業車両	物流	繊維機械	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	746,581	593,060	70,798	52,091	18,140	1,480,672		1,480,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,394	514	8,190	130	9,116	37,346	37,346	
計	765,975	593,574	78,989	52,222	27,256	1,518,019	37,346	1,480,672
セグメント利益	26,139	41,573	3,405	4,176	2,516	77,811	212	78,024

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
2 セグメント利益の調整額212百万円は、セグメント間取引消去であります。
3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」におきましては、子会社でありました株式会社ティーアイピーシーの整理に伴う、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などの減損損失(4,516百万円)を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「繊維機械」におきましては、子会社でありますウースター テクノロジーズ株式会社の株式を追加取得したことにより、のれんの金額は、8,794百万円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(のれんの金額の重要な変動)

「産業車両」におきましては、子会社でありますカスケード株式会社の株式の取得が前連結会計年度末直前に行われたことに伴い、暫定的に算定されたのれん45,183百万円を計上していましたが、取得原価の配分が完了したことにより、17,813百万円減少しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

子会社でありますカスケード株式会社の株式の取得が前連結会計年度末直前に行われたため、取得原価の配分が完了しておらず、その時点で入手可能な合理的な情報に基づき暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間において、取得原価の配分が完了し、受け入れた資産および引き受けた負債は主に、固定資産の「無形固定資産」の「その他」32,846百万円、固定負債の「繰延税金負債」11,267百万円となりました。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	130円27銭	244円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	40,601	76,450
普通株主に帰属しない金額 (百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	40,601	76,450
普通株式の期中平均株式数 (千株)	311,685	313,086
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		243円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (百万円)		
普通株式増加数 (千株)		280
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変更があったものの概要		

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

中間配当に関し、次のとおり取締役会において決議されました。

決議年月日	平成25年10月31日
中間配当金の総額	10,960百万円
1株当たりの金額	35円
効力発生日および支払開始日	平成25年11月26日

(注) 平成25年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主に対して支払を行っております。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

株式会社豊田自動織機
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	笹	山	勝	則
指定社員 業務執行社員	公認会計士	戸	田		栄
指定社員 業務執行社員	公認会計士	市	原	順	二

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社豊田自動織機の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社豊田自動織機及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。